

〈シンポジウム報告〉

和歌山大学博物館(紀州研HUB)オープニング記念企画

## 公開シンポジウム 太田城水攻めと出水堤防

—フィールドミュージアム雑賀惣国—

主催：和歌山大学・紀州経済史文化史研究所

後援：和歌山県教育委員会／社団法人土木学会／和歌山地方史研究会

7月1日(日) 13:00~17:00 (12:30開場) 和歌山県立向陽高校・記念館

**問題提起** 海津一朗「太田城水攻めと〈秀吉の平和〉」

**個別報告** 「太田城・出水堤防・紀州惣国について 各界よりの発議」

- ◆弓倉弘年氏 (歴史学から) 和歌山県立向陽高校教諭 文学博士
- ◆北野隆亮氏 (考古学から) 和歌山市都市整備公社学芸員
- ◆宇民 正氏 (河川工学から) 元和歌山大学システム工学部教授 工学博士
- ◆額田雅裕氏 (地理学から) 和歌山市立博物館学芸員
- ◆軽部大蔵氏 (土質工学から) 構造地盤研究所取締役・神戸大学名誉教授  
工学博士(本誌に掲載)

### 個別報告者によるパネルディスカッション

博物館相当施設指定を記念して、出水堤防の史跡保存啓発を主目的としたシンポジウムを地元の向陽高校の協力を得て実施した。「先着80名」とした参加者は、雨天にもかかわらず100余名を集めて盛況であった。会場2階の別室に実況中継室を設けたために混乱はなかった(松田憲幸研究室のご協力による)。参加者は、各界研究者・太田住民・歴史愛好家がほぼ同数であり、シンポジウムの会場発言では幅ひろい議論が出来た。

報告では、宇民氏が本紀要27号掲載論文を基調にして、現在の出水堤遺跡から秀吉水攻めの規模を計算して田中敬忠説の再評価をもとめ、軽部氏も土質工学の実験より宇民説の正しさを裏付ける報告をした(本号に掲載)。北野氏は、長年の発掘調査成果に基づいて(和歌山大の荘園調査成果も援用し)、太田城=環濠集落説を唱えて、来迎寺・玄通寺を中心とする太田城範囲を明示した。額田氏は、地理学の方法による地形分類と秀吉水攻めの比較検討により太田城水攻めを出水とする自説を再論した。一方、弓倉氏は秀吉権力による紀州攻めの過程を歴史学の成果に基づいて検証し、額田説を過小評価として批判した。

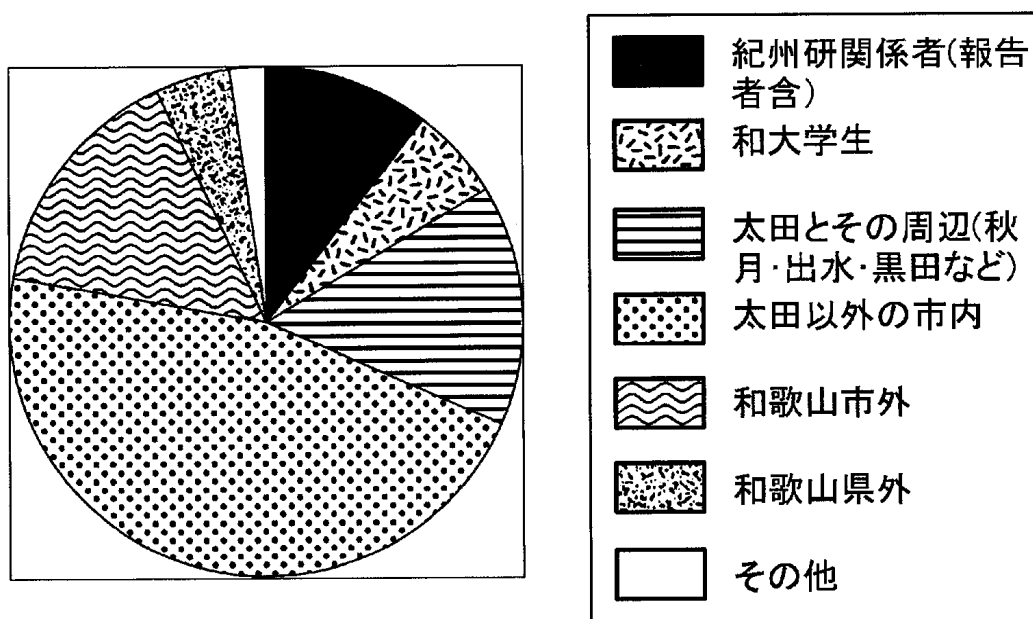
討論は、当初の予想通り、報告者相互間で交わされ、とくに額田氏の理解をめぐる白熱した応酬が展開した。額田氏から、宇民氏が秀吉軍の築造とした横堤の築造主体について、秀吉軍の労働力編成のあり方について、現存しない堤遺跡について等の反論や提起があり、会場内は学問の方法論や実証法についても興味深く学ぶことが出来た。事実確認だけで時間を使い果たし、肝心の「秀吉はなぜ軍事的に不要な水攻めを行なったか」に議論が及ばなかったのは司会の不手際であった。意見対立にもかかわらず、それゆえに歴史史料としての出水堤遺跡の保存が重要であること、報告者および会場の全員が



確認できた。

なお当初、大学LUNにより報告・討論の後日公開を予定して準備してきたが、当日の録音等トラブルによって実現できなかった。意義のある内容のため、「紀州研叢書1集」として、清文堂から刊行を準備している。(文責海津)

### 【シンポジウム来場者の住所比率】



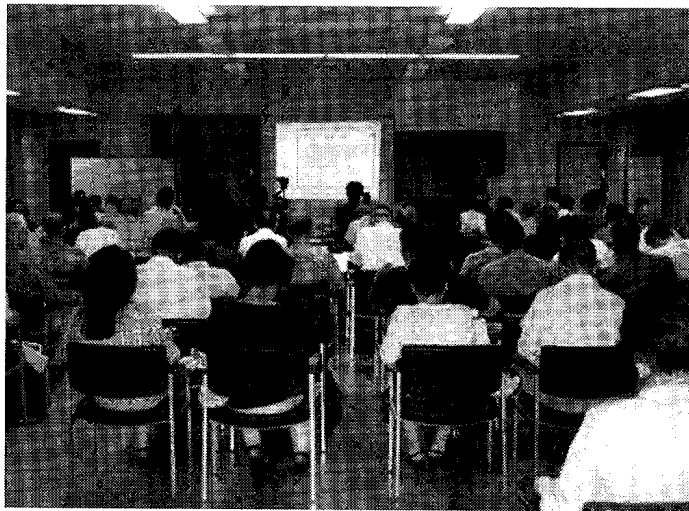
※署名者のみ

### 【アンケート抄録】

- ・今回、太田城水攻めに関するシンポジウムに初めて参加させていただき感謝いたします。北野先生の中世環濠集落説や宇民先生の2段階水攻め説等いずれも新鮮な気持ちで拝聴し、また異説(出水説)の存在も初めて知り、意義ある一日でした。質問としましては、攻城側の秀吉軍の軍勢規模はどの程度のものであったということと、労力のかかる水攻めをしたのはなぜかということです。
- ・工学系など、理系分野からの見方や講義を受け、難しかった部分も多いですが、新鮮さを感じました。太田城についての討論もおもしろかったです。

古文書や考古学からの論点から、先生方のさまざまな意見が聞けて良かったです。

- ・太田城跡について意見が分かれて面白かった。出水堤防の保存について予定されていますか。次回も楽しみにしています。
- ・太田城水攻めの講演、よくわかりました。昔の来迎寺付近、よく覚えているので懐かしかったです。実家のお墓は来迎寺なので、すっかり、様子が変わっています。黒田公園の「石」何の石か？疑問だったのですが、日前宮「3番祓所」だと知り、今日出席してよかったです。
- ・和城研の一員ですが太田城の現地説明会を何度か実施したのですが、和紀州経済史文化史研究所の主催でも是非お願いします。同じく、額田先生にも現地での説明をお願いいたします。出水堤の跡へ説明文を和歌山市に要請してください。今は何もなく忘れ去る前に是非残して欲しい。



- ・現在の工学で昔の作業を検証して行くことの面白さ等。色々な諸説を聞かせていただき大変楽しい時を過ごさせていただきました。
- ・土木工学・河川工学・地盤工学・考古学、地理地形学などの意見がうかがえてとても興味深かったです。紀州経済史文化史研究所としての取り組みも今回のように他分野から同一の事項にスポットをあてるのは良いと思いま

す。和歌山大学幅広い分野を扱っている先生方がいらっしゃるなので大いに頑張ってもらいたいです。

- ・難しくって、よくわかっていないのですが、地道な研究を聞けるなんて凄い事だと思います。できれば、今後も参加したいと思っています。



太田城水攻め堤防(南側より)